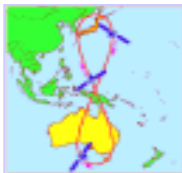
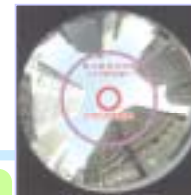


準天頂衛星システム



日本付近で常に天頂方向に1機の衛星が見えるような複数衛星を準天頂軌道に配置する衛星システムにより、山間地、ビル影等に影響されず、全国100%をカバーする高品質の通信・測位サービスの提供を実現



研究開発内容・体制

計画

- H15 研究開始
- H16 開発研究
- H17 開発
- H20～21 打上げ

想定される総事業規模

約1,700億円

民間による事業化（事業責任者：飯沼新衛星ビジネス会社社長）

国の技術開発・実証

文部科学省

・高精度測位実験システム

総務省

・高仰角移動体高度通信技術
・高精度衛星測位技術

経済産業省

・衛星の軽量化・高度化技術
・推進系機器の高度化技術

国土交通省

・高精度測位の補正技術
・移動体に対する高精度測位技術

民の事業化

新衛星ビジネス㈱

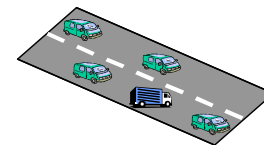
H14.11会社設立
H21 サービスイン

関係機関による連携・適切な分担

準天頂衛星システム開発・利用推進協議会
（関係省庁、関係研究開発機関、民間代表）

システムの成果

自動車で移動中でも、高層ビルなどの影響によって途切れることのない高速通信網を構築
GPSの情報を補完・補強*することによる高精度測位を実現
離島・山間部を含め、広く日本全体を対象としたサービスの提供



*補完: GPS互換信号を送信し、GPSとの組み合わせによって、衛星配置の改善による高精度化や利用可能時間を増加させること。

*補強: GPS補正信号や使用可否の情報を送信して、測位の高精度化や高信頼化を図ること。

民間活力の活用により、新産業創出等、経済の活性化へ